

# 書評

西 信博 著

## 「山のあなたの空遠くⅢ」

副会長

畑 俊 一

平成6年、小樽の西病院理事長・院長であられる西信博先生が、自院の創立40周年記念として「山のあなたの空遠く」を出版された。平成12年、続編として「山のあなたの空遠くⅡ」を出版された。平成20年、続続編として「山のあなたの空遠くⅢ」を出版された。

この間、自院の診療以外に北海道医師会常任理事、北海道精神病院協会会長、北海道病院協会会長、日本医師会広報委員長などの公職を務めながら、多忙の中で数多くの執筆を行ってきた熱情と体力に全く感心させられる。

今回の「山のあなたの空遠くⅢ」には、1. 山のあなたの空遠く（主として旅行随想記）、2. 山で会った花（大雪山、夕張岳、雨竜沼、利尻山などでの高山植物の美しい写真集である）、3. 内視鏡で見る世界（北海道医師会発行の北海道医報の記事の中で読者に最も読まれ人気が高かった、西信博先生が担当されていた「内視鏡」というコラムで第953号から第1015号までが収録されている）、4. 精神医学の周辺（自分の専門である精神医学の分野のコラム）が掲載されている。

アルピニストであり、旅行家であり、優秀なカメラマンであり、また臨床精神科医師であり、先進的な医師会活動家である先生のすべてが網羅されている素晴らしい本である。

先生は、昭和9年2月20日生まれであるので、御年74歳になられると思う。先生は、精神科医である父上の西信次先生を継承し、昭和47年から西病院院長として半世紀にわたって本道臨床精神現場の第一線で活躍されている。先生は、「日本の精神科医療の臨床現場も改善され、患者さんも早くよくなるようになった。これからも患者さんのための医療活動を、続けていきたい」と

述べており、私たちもまたそれを願うものである。

どの文章も博識と厳密な調査に裏付けられた文章で、結論が極めて説得的で反論の余地がない感じを与える。

「山のあなたの空遠く」の3編が、西信博先生の自分史であり、病院史であり、北海道医師会活動史であり、精神医学の変遷史であり、通読することで得られることは計り知れないものがある。

西信博先生が、カール・ブッセの「山のあなた」にこだわるのは何らかの理由があるに違いない。その訳を聞いてみたいものである。

山のあなたの空遠く

「幸」住むと人のいふ。

噫、われひとゝ尋めゆきて、

涙さしぐみかへりきぬ。

山のあなたになほ遠く

「幸」住むと人のいふ。

1905年（明治38年）、訳詩集「海潮音」を上田敏が発表した。その中の一編である。「遙に満洲なる森嶋外氏に此の書を献ず」となっている。ポオル・ヴェルレエヌの「落葉」なども収録されており、日本の象徴詩運動のさきがけになったことで国語の教科書で紹介され、私もまた「山のあなたの空遠く」を口ずさんだことがある。

健筆が益々冴え、続続続編「山のあなたの空遠く」が誕生することを祈念してやまない。

若干余部がございますので、ご希望の向きは、北海道医師会情報広報部宛お問い合わせください。  
北海道医師会事業第一課：Tel. 011-231-7661

